

(職工共大勸令ヲ台メ附送) ヲ算シ 爭議團幹部久保時  
送外九名ノ各辯士ハ本爭議ノ勝利ハ團結ノ力  
ナリシトノ旨日ヲ説キ稍氣勢ヲ揚ケ今九時三十  
分無事閉會セリ

8.20  
8.20  
8.20

翌二十日ヨリハ平常ノ出勤状態ニ復シタルモ其  
後第四課ノ硬派三四十名ハ予テ 役付職工ハ  
専横ノ行為多ク且ツ爭議中其結束ヲ裏切り  
ヲ出勤セリ等ノ及威ヨリ其下ニ働クヲ屑トセス  
作業能率上ラサルヨリ會社ニ他ニ影響センコトヲ  
虞レ本朝全課職工全部ヲ一場ニ集メ 諭示ス  
ル所アリシ結果多少及省ノ色ナキニ非サルカ而  
モ大改鉸工組合ハ曩ニ爭議解決ニ際シ總同  
盟カ拔駈的功名ヲ擅ニミタリトテ之ニ及威ヲ抱キ  
解決條件ハ爭議團ノ為メニ未ダ不満足ノモノナ  
リトシ工場内外ニ於テ反對運動ヲ試ミ又前記  
爭議報告演說會ニ方リ左記印刷物ヲ撒布スル  
等ノコトアリテ此機會ニ何事ヲ事端ノ發生セム

大改鉸工組合  
左記

コトヲ希望セルヤノ模様アリ本問題ハ目下全會  
トノ關係ナキカ如ク他ノ大部職工モ平穩ニ  
作業ニツ、アレハ其擴大シ見ル等ノコトナカルハ  
ク鬼料セラルモ引續經過注意中ナリ

左記

(其ノ二)

罷工團ニ告ぐ

吾等は力ヲ盡キ、刀ヲ折ルテ胃ヲ抜クノカ  
同盟罷工ニ其勝敗ハ問題ニ在リ  
將來労働者ノ天下ニとる一々運動ノ予備對關豫習大  
此ノ精神を失フテ罷工はセロカ  
川北ノ問題ハ川北職工自身ニ解決セよ  
他組合ノ指導者ノ調停的態度を極力排斥セよ  
及テ最初ノ堅決通り一步も退くハ  
懲敗して今刀をオサめりより収獲は偉大也  
勇敢に最後迄○○

労働組合同盟會